



| | |
|------------------------|---|
| Title | 北海道大学サステナビリティ・ウィーク 2012 : 年次記録 : 安心して暮らせる社会づくり |
| Issue Date | 2017-03 |
| Doc URL | http://hdl.handle.net/2115/65270 |
| Type | report |
| Additional Information | There are other files related to this item in HUSCAP. Check the above URL. |
| File Information | chapter-3.pdf () |



[Instructions for use](#)

3. 実施報告

北海道大学 サステナビリティ ウィーク 2012

実 施 報 告 書

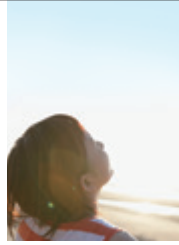


安心して暮らせる
社会づくり

**Hokkaido University
Sustainability Weeks
2012**



北海道大学



サステナビリティ・ウィーク2012

世界に開かれた交流プラットフォームへ

すべてのいのちが大切に営まれていくために
必要な「安心」とはどのようなものかを共に考えようと、
世界中から研究者、学生、市民が最新の研究成果と活動報告をたずさえて集まりました。

公式ロゴマークを定め、新たな気持ちで6年目を開催しました。「安心して暮らせる社会づくり」をテーマに、
我々の暮らしを脅かす多様な不安要素の回避や解決を目指し「持続可能な社会」を議論する機会となりました。

DATA

第6回サステナビリティ・ウィーク

2012.10.06 ~ 10.21

企画数 **36**企画

期間中 **17**企画 ポスト企画 **13**企画

プレ企画 **6**企画 うち、学生企画 5企画 うち、海外開催 4企画

サステナビリティ学生研究ポスターコンテスト

参加数 **78**チーム (90名)

- 学部生 11名
- 修士 29名
- 博士 50名

(参加の学部・大学院数:11)

審査員数 173名(学生86人、教員87人)

Webサイト訪問者数

31,021人

(期間：2012.4.1~2012.11.30)

Facebookのいいね! 数

2,330人

(2012.11.30時点)

参加のべ人数

5,843人

(うち、海外から602人)

アーカイブ視聴者数

15,438人

(2012.11.30時点)

大学間交流協定校とのジョイント企画

..... **3**企画 **6**大学

フィンランド

オウル大学
ラップランド大学

韓国

高麗大学校
ソウル大学校

ネパール

トリブバン大学

中国

北京師範大学

大学間交流協定校からの参加数

..... **39**名(9ヶ国16大学)

(上記に加え)

- アメリカ —— オクラホマ大学
- イタリア —— トリノ工科大学
- インドネシア —— バランカラヤ大学、ガジャマダ大学、ボゴール農科大学
- カナダ —— アルバータ大学
- 中国 —— 浙江大学
- ナイジェリア —— ナイジェリア大学、エゴニ州立大学
- フィンランド —— ヘルシンキ大学

参加者の声

(アンケートより抜粋)

○ サステナビリティに向けた他大学の取り組みが参考になりました。 **他大学研究者より**

○ とても有意義な講演でした。もっとたくさんの人に聴いてもらえるよう資料や動画を公開してもらえるといいと思います。 **市民より**

○ 大学全体でサステナビリティ・ウィークを支援している体制に敬意を表します。 **他大学研究者より**

○ 通訳を介してグローバルな視点に触れられるこのような貴重な場を継続開催して欲しい。 **市民より**

社会のモデルを示す

北海道のポテンシャルを活かし、安心して暮らせる
社会のモデルを世界に発信しました。



国際シンポジウム 先住民文化遺産とツーリズム ～北海道の可能性～

10月13日(土)～14日(日)

「観光」という手段を活かして、先住民文化遺産と地域社会との持続可能な関係を考えるためにシンポジウムを開催し、アイヌ民族を含む160名が参加しました。これまで日本では馴染みの薄い市民協働による文化遺産マネジメントについて、世界の事例を数多く紹介する貴重な機会となりました。



同日開催されたヘリテージツアー

▶ <http://www.sustain.hokudai.ac.jp/sw/jp/2012/indigenous/>

環境政策セミナー 持続可能な北海道・日本・世界へ ～再生可能エネルギーとグリーンエコノミー～

10月19日(金)



セミナーのポスター

東日本大震災以降、関心が急速に高まった再生可能エネルギーについて理解を深めようと4名の講師を招きセミナーを開催しました。北海道内における風力、太陽光、バイオガスの事業が紹介され、地域に利益を還元・循環させる工夫について、約140名の参加者と活発な議論を交わしました。

▶ <http://www.sustain.hokudai.ac.jp/sw/jp/2012/environmental/>

サステイナブルキャンパス 国際シンポジウム2012

10月29日(月)

サステイナブルキャンパスに関する研究者交流プロジェクトを北海道大学と協働している欧州3大学(トリノ工科大学、ケンブリッジ大学、アムステルダム自由大学)の研究者と、文部科学省と札幌市の代表者を招き、シンポジウムを開催しました。行動計画や地域連携、評価手法等について国、地域、大学レベルの状況が報告されました。得られた情報を活用して北海道大学は今後、キャンパス総合環境性能評価システムを策定する予定です。



パネルディスカッションの様子

▶ <http://www.sustain.hokudai.ac.jp/sw/jp/2012/campus/>

北海道大学 サステナビリティ・ウィーク 2012 オープニング企画 10月6日(土)～7日(日)

24時間 国際サステナ対話 ～ International Dialogue for a Sustainable Future ～

北海道大学の学生がレポーターとなり、札幌キャンパス内外の様々な場所や人を訪ね、本学の歴史や持続可能な社会の実現に向けた研究や学生の生活を、インターネットを通じて英語で世界に発信しました。

誰でもいつでも視聴できるアーカイブ動画は、北海道大学のサステナビリティの取り組みや魅力を知ることができる絶好の媒体として、活用されます。



電動カートを利用した
学内交通の低炭素化に向けた
実証研究を紹介する
学生レポーター



スタジオから中継をする
学生レポーター



サステナビリティ・ウィーク2012の看板前で
一連の行事を紹介する学生レポーター

▶ <http://www.sustain.hokudai.ac.jp/sw/jp/2012/opening/>

協力ネットワークを広げる

国境を越えた協力をさらに進めるため、サステナビリティ・ウィークのサテライト行事を海外で初めて開催しました。



フィンランドー北大 ジョイント・シンポジウム 北方圏の環境変化

9月10日(月)~14日(金)

北海道とフィンランドの研究者は長年、地球温暖化が北方圏の環境に及ぼす影響について議論を積み重ねてきました。今後もこのような交流の機会を通じて、大学間交流協定校であるオウル大学、ラップランド大学及びヘルシンキ大学との相互交流を促進・発展させていく意向を互いに確認しあいました。



オウル大学Lauri Lajunen学長による
開会のあいさつ

▶ <http://www.sustain.hokudai.ac.jp/sw/jp/2012/finnish/>

国際シンポジウム アフリカにおけるサステナビリティ学の展開

9月18日(火)



発表の様子

アフリカのブルキナファソ共和国でシンポジウムを開催しました。北海道大学、成功大学(台湾)、バランカラヤ大学(インドネシア)、ガジャマダ大学(インドネシア)、浙江大學(中国)、国際水環境工学研究所(2iE)の代表者がアフリカの持続的発展のための教育と研究に関し発表をし、今後の共同研究に向けた有益な情報共有を行いました。

▶ <http://www.sustain.hokudai.ac.jp/sw/jp/2012/africa/>

国際シンポジウム かわりゆくアジアの山岳環境

10月7日(日)~9日(火)

国際研究プロジェクト「全球陸域プロジェクト (GLP)」と「2002年国際山岳年プラス10」に資するべく、大学間交流協定校であるトリバン大学と共同で、アジアの山岳地域に焦点を当てたシンポジウムをネパール国で開催しました。集まった研究者と大学院生は陸域システムの脆弱性・回復力・持続可能性や、山地災害・氷河湖決壊洪水などの山岳環境の変化について、研究発表を行いました。



全体会議の様子

▶ <http://www.sustain.hokudai.ac.jp/sw/jp/2012/mountain/>

すこやかに人間らしく生きる

ひとり一人が身体的、精神的、社会的に良好な状態(Well-being)で質の高い生活(Quality of Life)を送ることのできるコミュニティづくりについて、議論しました。



ESD国際シンポジウム 共生社会への教育の挑戦

10月12日(金)

大学間交流協定校である高麗大学校(韓国)、ソウル大学校(韓国)、北京師範大学(中国)から研究者を招へし、地球環境の健全な持続のために、大学が果たすべき教育的役割について、講演とパネルディスカッションを行いました。現代世界の危機克服のための新たな価値の形成とその教育方法を東アジアから発信すべく、今後も共同で議論を進めていくことが確認されました。



講演者の集合写真

▶ <http://www.sustain.hokudai.ac.jp/sw/jp/2012/esd/>

STAND UP TAKE ACTION in Hokudai

10月17日(水)



[STAND UP!]

貧困解決のための世界的キャンペーン「STAND UP TAKE ACTION」を世界貧困デーにあたる10月17日に北海道大学でも開催したところ、学生・教職員・市民85名が集まりました。参加者は国際協力活動に従事する研究者や学生の発表を聴き、世界から貧困をなくそうという意志を「立ち上がり」て示し、写真撮影をしました。このイベントがさらなる行動を起こすきっかけとなることが期待されます。

▶ <http://www.sustain.hokudai.ac.jp/sw/jp/2012/standup/>

国際シンポジウム 異性装とパロディ

10月20日(土)

日本のサブカルチャーにスポットを当てたシンポジウムを開催しました。日本の「異性装文化」を軸に、文化表象及び文化受容の特質や歴史性、あるいは政治性を、ジェンダー・セクシュアリティの観点から批評的に捉え直す試みです。講演者は性の多様性や表現の自由を認める社会の必要性を強調しました。



パネルディスカッションの様子

▶ <http://www.sustain.hokudai.ac.jp/sw/jp/2012/gender/>

インターネット・フォーラム「GiFT」を昨年に引き続き開催しました。これから専門分野を決めて本格的に研究を開始する世界中の学生に対し、共に世界共通の課題に取り組もうと呼びかける機会です。水、病気、食料、ジェンダーといった課題に取り組む北海道大学の若手研究者4人が、最新の研究成果と共に、課題解決の展望を、英語で紹介し、これをインターネットで生中継しました。



秋田英万准教授の講演

GiFT 特設サイト
▶ <http://www.sustain.hokudai.ac.jp/gifft/>

サステナ・学生フォーラム

持続可能な社会の実現に対し学生の関心を高めようとしてサステナビリティの課題について議論するフォーラムを開催し、インターネットで生中継しました。中国、バングラディッシュ、セルビア、エリトリアからの留学生と日本人学生による議論は、理想と現実の両面、そして目指す社会のイメージやその実現の方法が多様であることを効果的に顕しました。



自らの考えを発表する学生と
耳を傾ける学生ら

▶ <http://www.sustain.hokudai.ac.jp/sw/jp/2012/forum/>

Youtube チャンネル

アーカイブ動画をご覧ください。

<http://www.youtube.com/user/hokkaidouniv>



調和を見いだす

自然の恩恵を意識しつつ、
環境を損なわずに暮らす道を模索しました。



第4回 北海道大学 サステナビリティ学生研究ポスターコンテスト

10月13日(土)～10月21日(日)

本学の大学院と学部の学生、78チーム(90名)が自らの研究を「持続可能な社会づくり」という観点で捉え、ポスターと口頭説明により発表しました。173人の教員と学生がそれらを審査し、4チームに最優秀賞、5チームに優秀賞、3チームに特別賞が授与されました。今後、最優秀賞の受賞者は、国際学会などへ派遣されます。



授賞式後の記念写真



審査の様子

▶ <http://www.sustain.hokudai.ac.jp/sw/jp/2012/poster/>

第3回 サステナブル・キャンパス・コンテスト

10月21日(日)



学生のプレゼンを聞く審査員

持続可能な社会のモデルとなり得る大学キャンパスにするためのアイデアを競うコンテストを開催しました。北海道大学の学生による3案は経済的・技術的実効性やオリジナリティ等の観点から審査され、会場賞とアイデア賞が授与されました。他にも高校生、他大学、社会人から多岐にわたる発表があり、知的刺激に満ちた大会となりました。

▶ <http://www.sustain.hokudai.ac.jp/sw/jp/2012/contest/>

参加者募集

「北海道大学サステナビリティ学生研究ポスターコンテスト」および「サステナブル・キャンパス・コンテスト」への2013年度の参加者を募集しています。

詳しくはサステナビリティ・ウィーク2013ウェブサイトをご覧ください。

▶ <http://www.sustain.hokudai.ac.jp/sw/jp/>

日中共同シンポジウム 持続可能なサニテーションとリスク管理

10月15日(月)

世界の水・衛生問題解決について議論すべく共同研究パートナーである西安建築科技大学(中国)と北海道大学の大学院生を中心に、研究発表を行いました。同じ研究テーマを持つ学生同士の交流は、視野を広げ互いの理解を深める有意義な機会となりました。本シンポジウムは、世界で活躍する人材育成の場となっていることから、継続開催を予定しています。



若手研究者による発表

▶ <http://www.sustain.hokudai.ac.jp/sw/jp/2012/sanitation/>

フランス各地域における 農業の再生を目指して

11月30日(金)



ジュリアン・ブラン博士の講演

札幌日仏協会/アリアンス・フランス札幌と北海道大学は、農業再生をテーマに新たな知が創造される場を創出しようと講演会を共催しました。フランス国立自然史博物館より招いたジュリアン・ブラン博士は、フランスの都市農業を推進する原動力、現状、都市デザインについて講演し、参加した多くの研究者や市民と活発に意見交換を行いました。

▶ <http://www.sustain.hokudai.ac.jp/sw/jp/2012/france/>

未来への学び

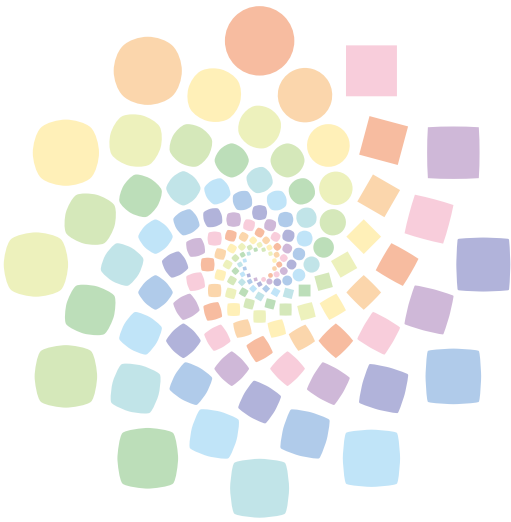
叡智(えいち)や課題を分かち合い
共感することを通じて、
新たな未来を切り開く心、ちから、
仲間を育みました。



参加企画一覧

| 日程 | 行事名 | 主催 | 共催 |
|-------------------|--|--|---|
| 9/1(土)～11/30(金) | 学生企画 電動カート DE 北大散策 グリーン電力を利用した移動手段に関する実証研究 | 北海道大学環境科学院 IFES-GCOEプログラム 環境教育研究交流室 | 北海道グリーン購入ネットワーク |
| 9/10(月)～9/14(金) | フィンランド-北大 ジョイント・シンポジウム: 北方圏の環境変化 | オウル大学、ラップランド大学、 フィンランドセンター、北海道大学 | |
| 9/13(木)・9/14(金) | 国際ワークショップ: 環境・生態に関する施策と環境評価モデリング | 北海道大学サステナビリティ学 教育研究センター | インドネシア科学院 (LIPI) |
| 9/15(土) | 市民公開講座: 本当は歯じゃない歯痛のはなし | 北海道大学歯学研究所 | 北海道大学歯学会 |
| 9/15(土)・9/16(日) | 専門型 公開講座: 持続可能な社会と生物時計 | 第19回日本時間生物学会学術大会 | 北海道大学医学研究所 時間医学講座 |
| 9/18(火) | 市民セミナー: 安心した暮らしと住宅ケアを支える | 北海道大学保健科学研究所 | 第27回生体・生理工学シンポジウム、 公益社団法人 計測自動制御学会 |
| 9/18(火) | 国際シンポジウム: アフリカにおけるサステナビリティ学の展開 | 北海道大学サステナビリティ学 教育研究センター | 国際水環境工学研究所 (2IE) |
| 10/6(土)・10/7(日) | 24時間 国際サステナ対話 | 北海道大学 | |
| 10/6(土) | サステナ・学生フォーラム | 北海道大学 | |
| 10/6(土)・10/7(日) | 学生企画 サステナ・カフェ | 北大カフェプロジェクト | |
| 10/6(土) | GIFT2012 ～Global Issues Forum for Tomorrow since 2011～ | 北海道大学 | |
| 10/7(日)～10/9(火) | 国際シンポジウム: かわりゆくアジアの山岳環境 | トリブワン大学(ネパール)、 GLP札幌拠点オフィス、北海道大学 | |
| 10/12(金) | ESD国際シンポジウム: 共生社会への教育の挑戦 | 北海道大学教育学研究院 | 高麗大学校、ソウル大学校、北京師範大学 |
| 10/13(土)・10/14(日) | 国際シンポジウム: 先住民文化遺産とツーリズム ー 北海道の可能性 ー | 北海道大学アイヌ先住民研究センター | 北海道大学観光学高等研究センター |
| 10/13(土)～10/21(日) | 第4回北海道大学サステナビリティ学生研究ポスターコンテスト | 北海道大学 | |
| 10/15(月) | 日中共同シンポジウム: 持続可能なサニテーションとリスク管理 | 北海道大学工学研究院 | 独立行政法人科学技術振興機構 (JST) |
| 10/15(月)・10/16(火) | 第3回 国際シンポジウム: 東アジアの子どもの健康とサステナビリティ | 北海道大学環境健康科学研究教育センター | 北海道大学教育学研究院・ 保健科学研究所・医学研究所 |
| 10/17(水) | 産学官セミナー: 地理空間情報が拓く未来Ⅳ ー 防災GISとハザードマップ | 北海道大学文学研究科 | 地理情報システム学会北海道支部、 北海道GIS-GPS研究会、Digital北海道研究会 |
| 10/17(水) | STAND UP TAKE ACTION in Hokudai | 北海道大学附属図書館(国連寄託図書館) | |
| 10/18(木) | 北大XJICA連携企画: 持続可能な社会をつくる日本の海外ボランティア ～青年海外協力隊の活動から見る国際協力の世界～ | JICA北海道 | 北海道大学国際本部 |
| 10/19(金) | 環境政策セミナー: 持続可能な北海道・日本・世界へ ー 再生可能エネルギーとグリーンエコノミー | 北海道大学 「持続可能な低炭素社会」づくりプロジェクト | 環境省北海道地方環境事務所 |
| 10/20(土) | 国際シンポジウム: 異性装とパロディ | 北海道大学文学研究科 応用倫理研究教育センター | |
| 10/21(日) | 学生企画 第3回 サステナブル・キャンパス・コンテスト | SCSD(The Students Council for Sustainable Development in Hokkaido University) | 北海道大学サステナブルキャンパス推進本部 |
| 10/24(水)～10/28(日) | 学生企画 CLARK THATER 2012 | 北大映画館プロジェクト | |
| 10/25(木) | キャリアセミナー: 国際協力プロジェクトをいかに実現するか 開発コンサルタントが語る途上国現場と仕事 | 北海道大学経済学研究科 地域経済経営ネットワーク研究センター (REBN) | 北海道大学経済学研究科 (後援:海外コンサルティング企業協会、JICA北海道) |
| 10/26(金) | 留学希望者向けセミナー: SD on Campus | 北海道大学国際本部 | |
| 10/27(土) | 第9回プレゼン・ディベート大会 原発は是か非か?!ー エネルギー政策と北海道経済 | 北海道大学経済学部 | |
| 10/27(土) | 情報科学研究科教員の企画: やさしい情報科学とライフイノベーション公開講座 ー 体験しながら学ぶ理科・科学入門教室 | 北海道大学情報科学研究科 | (後援:最先端次世代研究開発プログラム) |
| 10/29(月) | サステナブルキャンパス国際シンポジウム2012 | 北海道大学サステナブルキャンパス推進本部・施設部 | 一般社団法人国立大学協会 |
| 10/30(火) | 時計台サロン: 農学部聞いてみよう ～自然と食の巡り違い～ | 北海道大学農学研究院 | 北海道新聞社 |
| 11/2(金)・11/3(土) | 総合研究企画シンポジウム: 「生きづらさ」を超えて | 北海道大学教育学研究院附属 子ども発達臨床研究センター | |
| 11/3(土) | 市民公開講座: よこそ!ヘルスサイエンスの世界へ | 北海道大学保健科学研究所 | |
| 11/17(土) | 学生企画 第3回 3.11札幌若もの会議 ～持続可能な社会と被災地の復興～ | Sapporo Youth Conference for 3.11(SYC) 実行委員会 | 北海道大学サステナブルキャンパス推進本部 |
| 11/22(木) | 地域経済経営ネットワーク研究センターシンポジウム 地域の多元的な「豊かさ」を目指して ー 農業の視点から | 北海道大学経済学研究科 地域経済経営ネットワーク研究センター (REBN) | |
| 11/22(木) | 市民公開シンポジウム: 自然エネルギーを1次産業に活用した地域振興 | 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター | 日本農作業学会 |
| 11/30(金) | フランス各地域における農業の再生を目指して | 北海道大学農学研究院・工学研究院・国際本部、 札幌日仏協会、札幌アリアンス・フランセーズ | |

Hokkaido University Sustainability Weeks 2012



札幌サステナビリティ宣言にもとづき
北海道大学は持続可能な社会を実現する原動力になります。

サステナ ポータル サイト

“HUISD”

Hokkaido University Initiative for Sustainable Development

北海道大学が率先する
サステナビリティ

教育

研究

経営

活動へ

ここからアクセスできます

<http://www.sustain.hokudai.ac.jp/huisd/jp/>



サステナビリティ・ウィーク事務局 北海道大学 国際本部内

〒060-0815 北海道札幌市北区北15条西8丁目 電話:011-706-8031 FAX:011-706-8036 E-mail: office1@sustain.hokudai.ac.jp

ウェブサイト: <http://www.sustain.hokudai.ac.jp/sw/jp/>

Facebook: <http://www.facebook.com/SW.Hokkaido.u>

Youtube: <http://www.youtube.com/user/hokkaidouniv>



古紙配合率100%再生紙を使用しています。

2013年2月発行

作成日：平成 29 年 3 月

作成者：北海道大学サステナビリティ・ウィーク事務局

〒060-0815 北海道札幌市北区北 15 条西 8 丁目

TEL 011-706-8031 / E メール contact@oia.hokudai.ac.jp

北海道大学国際部国際企画課

〒060-0815 北海道札幌市北区北 15 条西 8 丁目

E メール planning@oia.hokudai.ac.jp
